

川なみ学級（自閉・情緒障がい学級）生活・総合的学習の時間学習指導案

日 時 令和6年11月6日（水）

児 童 6年1名 5年2名 2年2名

授業者 佐藤 昭雄

1 単元名「もりおかたんけん」

2 単元の目標

地域の町並み・交通・福祉・観光施設を利用する活動を通して、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用することができるとともに、多様な方法で自分の考えを伝えたり、友達の考えに共感したりすることができ、意思のやりとりを適切に行えるようにする。

3 単元について

（1）教材について

本教材は、「もりおかたんけん」の計画・探検・まとめ・発表の活動を通して、さまざまな人との関わりや公共施設の利用の仕方を経験すると共に、自立活動の指導内容である「人間関係の形成」「コミュニケーション」の力をつけることをねらいとしている。

上級生は昨年までの経験を生かして下級生に公共施設の利用の仕方やマナーを教え、下級生はいろいろな人とのやりとりを通して、初めて出会う人や物との関わり方を経験できると考えられる。また、異学年の友達が協力して盛岡の町を探検する活動は、校外での活動が好きな学級の児童にとって意欲的に取り組める活動でもある。

（2）児童について

（3）指導について

本単元を進めるにあたって、児童が主体的に活動できるように以下の点について留意しながら指導や支援を行う。

- ①活動の見通しがもてるように、学習計画を明記してゴールを示す。
- ②目的をもって取り組むことができるように、一単位時間の内容を明確にする。
- ③児童の学びを深めるために、ICT 機器を有効的に活用する。

（4）研究に関わって

本時では、以下の児童の姿を目指して授業づくりを進めていく。

- 友達の発表資料を見て、「いいな」と思うところや、「こうしたらもっとよくなる」と思うところを
考えて相手に伝えることで、自分の発表資料を見直し改善に生かすことができる。

【授業づくりの視点3】

- 友達からのアドバイスを参考にして分かりやすい発表資料に直すことで、2年生はタブレット端末を活用した簡単な発表の仕方を、5・6年生は相手とのやりとりを含む発表の仕方を理解することができる。

【授業づくりの視点4】

視点3では、「中間発表会」での友達の発表を聞いた後に感想や質問などを伝え、受け手にとって分かりやすい資料になっているかを考えさせたい。そのために、友達の発表資料をじっくり見る時間を確保する。その後、分かりやすい発表の観点を明記したカードに感想やアドバイスを記入し友達に伝えるようにする。

視点4では、友達からもらった感想やアドバイスを参考にし、ロイロノートを使って発表資料の改善に取り組む。改善点がない場合は、分かりやすい発表の観点をもとに自分の発表資料を見直させる。

また、写真の取り込み方や文字の挿入の仕方等を教え合いながら取り組めるように、手本になる児童の資料を紹介し、児童同士が交流できるようにしていく。

4 単元の評価規準

〈2年 生活〉

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
① 盛岡探検を通して、町にある公共施設の利用の仕方が分かっている。 ② 盛岡探検を通して、友達の発表のよさに気づいている。	① 盛岡探検の活動に見通しをもち、気付いたことを考えている。 ② 盛岡探検で、見つけたことや気付いたことを、ICT 機器を活用して表現している。	① 盛岡市の自然や施設に関心を向けている。 ② 盛岡市の自然や施設に関心をもち、デジタルカメラで撮影しようとしている。 ③ 盛岡探検で見つけたことや楽しかったことを発表しようとしている。

〈5・6年 総合〉

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
① 盛岡探検のために、交通機関の時刻や料金を、インターネットを活用して調べている。 ② 盛岡探検で気付いた情報を収集・整理している。	① 盛岡探検の活動に見通しをもち、学習計画を考えている。 ② 盛岡探検で集めた情報を、ICT 機器を活用して分かりやすく表現している。	① 盛岡探検の目的や内容に関心をもち、探究活動に進んで取り組もうとしている。 ② 盛岡探検を通して、収集した情報をまとめ、発表しようとしている。

〈自立活動〉

- ① 集団の雰囲気に合わせてたり、きまりを理解したりして、集団活動に参加することができる。

「3人間関係の育成（4）」

- ② 自分の気持ちや感情をコントロールして、場に応じた行動をとることができる。

「3人間関係の育成（4）」

- ③ 困ったら教師や友達に支援を求めることができる。

「3人間関係の育成（3）」

5 指導計画と評価の計画（14時間）

時	主な学習活動	主な手立て	評価規準・評価方法
1	・川なみ学級全員で「もりおかたんけん」に行くことを知る。	・「もりおかたんけん」に行く目的や見学の写真を見せながら活動をイメージさせ、意欲を引き出す。	○生活【主体的①】 ○総合【主体的①】 (発言・観察)

2	・「もりおかたんけん」の活動計画を考える	・想定される活動をいくつか短冊で用意しておき、見通しをもちやすくする。	○生活【思・判・表①】 ○総合【思・判・表①】 (発言・観察)
3	・目的地に行くための方法や公共施設の利用のマナーを調べる。	・公共施設や乗り物の利用の仕方を調べたり、友達から聞いたりする。	○生活【知・技①】 ○総合【知・技①】 (プリント)
4	・出発直前の確認をする。	・当日の日程と持ち物を再確認し、行動に見通しをもつ。	・生活【主体的①】 ・総合【主体的①】 (行動観察)
5 ～ 9	・「もりおかたんけん」	・安全やマナーに配慮しながら計画に沿って行動し、デジタルカメラで記録する。	○生活【主体的②】 ○総合【主体的①】 (行動観察)
10	・「もりおかたんけん」の思い出をまとめる。	・スライドショー、クイズ、プレゼンテーションの見本を提示し、まとめ方を選ぶ。	・生活【主体的③】 ・総合【主体的②】 (発言・観察)
11 ・ 12	・分かりやすい伝え方を工夫して、学習のまとめを行う。	・友達の作品を参考にしたり、アドバイスをもらったりしながらまとめる。	○生活【思・判・表②】 ○総合【思・判・表②】 (ロイロノート・観察)
13 本 時	・「中間発表会」をしよう。	・友達の発表を聞いて、感想や質問を伝える。	○生活【知・技②】 ○総合【知・技②】 (カード・ロイロノート)
14	・「もりおかたんけん」の思い出を発表しよう。	・普段関わってくださる先生方を招待して発表する。	○生活【主体的③】 ○総合【主体的②】 (行動観察)

※学級全員の児童の評価を記録に残す機会「○」

「努力を要する児童」を確認し、その後の指導に生かすために評価する機会「・」

6 本時の指導

(1) 目標

- ・中間発表会を行い、友達の発表のよさに気づくことができる。生活【知・技②】
- ・盛岡探検で気付いた情報を収集・整理し、分かりやすくまとめることができる。総合【知・技②】
- ・自分の気持ちや感情をコントロールして、場に応じた行動をとることができる。自立【3－(4)】

(2) 個別の指導計画

	児童の実態	本時で目指す児童の姿	手立て・支援方法
6年 A児	・衝動の抑制が難しい。 ・相手や状況に応じた受け答えが難しい。	・観点に沿って考えをまとめ、発表の準備をすることができる。 ・友達の発表を聞き、アドバイスすることができる。	・発表の観点メモを見ながら、資料をまとめることができるようにする。 ・分かりやすい発表の観点を示し、アドバイスしやすいように

			する。
5年 B児	- あらかじめメモを用意しておく、意見を話すことができる。 - 自分の思う結果が得られないと意欲を維持することが難しい。	- 観点に沿ってまとめ、発表することができる。 - 友達の考えを聞き、必要な事を素直に受け入れることができる。	- 発表の観点メモを見ながら、資料をまとめることができるようにする。 - アドバイスはよりよくするための物であり、相手の考えを否定するものではないことを全体でも確認する。
5年 C児	- 集団活動に積極的に参加することが難しい。 - 思いや考えを正確に伝えることが難しい。	- 観点に沿ってまとめ、発表することができる。 - 友達の考えのよさを見つけながら聞くことができる。	- 発表の観点メモを見ながら、資料をまとめることができるようにする。 - 声をかけながら、友達のよさを見つけやすくする。
2年 D児	- 人の話や発表を集中して聞くことが難しい。 - 言葉でのコミュニケーションが難しい。	- 友達の発表を聞き、うなづくなどの反応をしながら聞くことができる。 - 写真にコメントをつけて資料を作ることができる。	- 声をかけながら、集中して話を聞くことができるようにする。 - コメント有り無しの違いを比べ、良さを見つけさせる。
2年 E児	- 自分の考えや気持ちを伝えることが難しい。 - 話す方を向いて、人の話を聞くことができる。	- 自分が伝えたい観点に沿って資料を作ることができる。 - 少しでも友達の考えのよさを見つけながら聞くことができる	- 発表の観点メモを見ながら、必要な資料を選ぶように声をかける。 - 声をかけながら、友達のよさを見つけやすくする。

(3) 展開

段階	学習活動 (◎主な発問・学習活動)			・指導上の留意点、〈 〉評価 ○研究内容とのかかわり
	6 年 (A 児)	5 年 (B 児・C 児)	2 年 (D 児・E 児)	
導入 5	1 学習課題を確認する。 中間発表会をして、感想や質問をしよう。			・これまでの学習を振り返り、学習内容を確認する。
	2 学習の見通しをもつ			・学習の流れを提示する。
展開 30分	3 聞き手とのやりとりを意識して発表する。	3 相手を意識して発表する。	3 資料を見せながら発表する。	・一人ずつ資料を見せながら発表する。
	◎感想や質問を考えながら聞きましょう。			・聞く時の視点を確認し提示する。(気持ちを表す言葉、文字の色や大きさ、資料を提示するタイミング、声の
	・聞く人に問いかけを入れながら発表す	・聞く人を見ながら発表する。	・写真と説明を合わせながら発表す	

	る。		る。	大きさや姿勢が良いか。)
	4 学び合いをする ◎友達の発表を聞いて、感想や質問を発表しよう。 ・各自タブレット端末を使って、友達の発表資料を再度確認する。 ・友達の発表について、良いところや改善点など感想や質問を考え、カードに書いて伝える。 ・友達の発表資料を否定するような言い方をしない。認めながらも、こうするとさらに良いというような言い方をするように助言する。 5 発表資料を修正する。 ◎友達の意見を参考にして、もっと分かりやすい作品に直しましょう。 ・文字の大きさや色に気をつけて、写真の説明の言葉、記号、メモなどを記入させる。 ・写真の取り込み方や文字の挿入の仕方等を教え合いながら取り組めるように、児童自身がタブレット端末から情報を得たり、友達に聞いたりしながら、児童同士が交流できるようにする。 ◎どこを直したか発表しよう。 ・自分の発表に取り入れた友達のアドバイスを紹介する。			◎友達の発表を聞いて、受け手にとって分かりやすいものになっているか感想や質問を伝える。 ◆視点③ 〈2年生活の評価〉 友達の発表のよさに気づくことができる。【知・技②】 ◎相手や自分の思いが伝わることを意識した表現方法を考えて、よりよい作品に修正することができる。 ◆視点④ 〈5. 6年総合の評価〉 情報を収集・整理し、分かりやすくまとめることができる。 【知・技②】 ・誰からのアドバイス、どこを直したのか、発表資料を見せながら説明する。
終末10	6 振り返り ・活動の振り返りをする。			・ロイロノートを使って、観点に沿って活動を振り返り共有する。 〈自立活動の評価〉 自分の気持ちや感情をコントロールし、場に応じた行動をとることができる。 【3－(4)】